

## 名古屋 蓬左文庫

TEL (052) 935-2173  
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001  
ホームページ <http://housa.city.nagoya.jp/>



蓬左文庫は、尾張徳川家の旧蔵書を引き継いだ文庫です。蔵書数は約12万点。「河内本 源氏物語」など7件154点の重要文化財、尾張徳川家初代義直が徳川家康の遺品として譲り受けた駿河御譲本、歴代藩主が収集した書物を中心に、全国的にも優れた古典籍を収蔵・公開しています。

閲覧室では、蔵書や絵図画像の閲覧、レファレンスや複写サービスに応じています。また、国の有形文化財に登録されている旧書庫棟を利用したエントランスホールでは、かつての書庫の様子を再現し、展示室では徳川美術館とともに、大名文化や古典籍をテーマにした展覧会を開催しています。



- 閲覧室/入室無料 館外貸し出しはいたしません。
  - 【開架図書】午前9時30分～12時、午後1時～5時
  - 【開架図書】午前9時30分～午後5時
  - 【複写サービス】保存など支障のない範囲で、CD-Rからのプリントアウトまたはマイクロフィルム複写などの方法により行います。
- 閲覧室内の書架(15,000冊収容)にある参考図書は自由にご覧いただけます。  
書庫内の資料は、検索・閲覧システムを使って閲覧請求ができます。

### 徳川美術館・蓬左文庫共通

- 開館時間/午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日/月曜日(祝日・振替休日の場合は直後の平日)  
年末年始:2022年12月16日(金)～2023年1月3日(火)  
※GW期間(4月29日(金・祝)～5月8日(日))は休まず開館  
※8月15日(月)は臨時閉館

観覧料 (一般) 1,400円 (高・大生) 700円 (小・中生) 500円

※20名様以上の団体は一般200円、その他100円割引 ※毎週土曜日、小・中・高生入館無料

※ 観覧料は変更となる場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。

## 徳川園

TEL (052) 935-8988  
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001  
ホームページ <https://www.tokugawaen.aichi.jp/>



徳川園は池泉回遊式の日本庭園で、清流が滝から溪谷を下り海に見立てた池へと流れるありさまは、日本の自然景観を象徴的に凝縮しています。さらに、高低差の大きな地形、既存のまま取り入れた樹林、立体的に迫る大きな岩組みが特徴で、変化に富んだ景観を大胆に切り替える構成を用いて大名庭園の「荘厳さ」が体感できます。また、新緑や紅葉、牡丹や花菖蒲の花々など四季を通じて楽しめる庭となっています。

- 開園時間/午前9時30分～午後5時30分(入園は午後5時まで)
  - 休園日/月曜日(祝日の場合は翌平日)・年末年始(12/29～1/1)
  - 入園料/一般 300円 中学生以下無料
- 徳川美術館・蓬左文庫共通観覧 一般 1,550円※  
※ 一般の入園料(徳川美術館・蓬左文庫共通観覧)は変更となる場合があります。詳しくは各施設にお問い合わせください。

ガーデンレストラン 徳川園 052-932-7887

日本料理 宝善亭 052-937-0147

## 徳川美術館

TEL (052) 935-6262  
〒461-0023 名古屋市東区徳川町1017  
ホームページ <https://www.tokugawa-art-museum.jp/>



徳川美術館は、徳川家康の遺品を中心に、尾張徳川家初代義直(家康9男)以下代々の遺愛品、いわゆる「大名道具」1万件余りを取りめる美術館です。国宝「源氏物語絵巻」をはじめ、国宝9件、重要文化財59件など、種類の豊富さ、質の高さ、保存状態の良さを誇ります。本館は国の有形文化財に登録されています。

### 【名品コレクション展示室】 約1ヶ月毎に展示作品が替わります

尾張徳川家伝来の名品を中心に、大名の生活と文化を紹介する展示室です。尾張徳川家当主の公的生活の場であった名古屋城二之丸御殿を、部分的ながらも時代考証に基づいて、そのまま復元してあります。美術品とそれらが使われた空間との一体的な体系展示によって、美術品単体の美にとどまらず、日本の伝統美である「構成の美」あるいは「取り合わせの美」を鑑賞することができます。



### 交通のごあんない

#### なごや観光ルートバス「メーグル」

名古屋駅バスターミナル11番のりば  
名古屋駅発着で平日30分～1時間に1本、土・日・休日は20分～30分に1本運行  
「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」停留所下車徒歩約1分

#### 名古屋駅より

- 【市バス】名古屋駅バスターミナル10番のりば 基幹2系統「猪高車庫」ゆき  
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約30分)徒歩約3分
- 【名鉄バス】名鉄バスセンター4番のりば 「三軒家」方面ゆき  
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約30分)徒歩約3分
- 【J R】JR中央本線「多治見」方面ゆき「大曾根」駅下車  
南出口から徒歩約10分
- 【地下鉄】桜通線「徳重」ゆき、「車道」駅下車1番出口より徒歩約15分

#### 栄より

- 【市バス】栄バスターミナル(オアシス21)3番のりば  
基幹2系統「引山」、「四軒家」方面ゆき  
「徳川園新出来」停留所下車(所要時間約20分)徒歩約3分
- 【地下鉄】市営地下鉄名城線(右回り)「大曾根」駅下車  
E5番出口より徒歩約15分

#### 新型コロナウイルス感染症対策

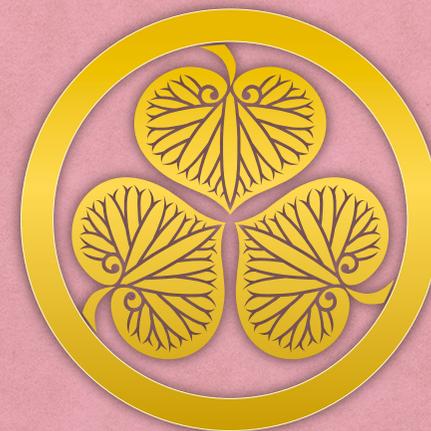
- ・マスク着用でご来館ください。
- ・予防対策の詳細については、各施設のホームページをご覧ください。



二〇二二年度ご案内

# 徳川美術館 名古屋 蓬左文庫 徳川園

尾張徳川家ゆかりの地 大名文化の真髄が体感できる



3/29(火)~4/26(火) 4/27(水)~5/22(日) 5/24(火)~6/19(日) 6/21(火)~7/18(月・祝) 7/20(水)~8/23(火) 8/24(水)~9/19(月・祝) 9/21(水)~10/16(日) 10/18(火)~11/15(火) 11/16(水)~12/15(木) 1/4(水)~1/31(火) 2/1(水)~2/28(火) 3/1(水)~3/26(日)

【第1展示室】名刀セレクション・【第5展示室】国宝 初音の調度《一年を通じて順次数点ずつ展示公開します》

名品コレクション展示室



国宝 初音時絵箱(3/29~5/22)



古染付手桶形水指 (5/24~8/23)



長篠合戦図屏風(部分) (7/20~8/23)



能面 般若(8/24~9/19)



重文 純金台子茶具 (9/21~12/15)

【特別公開】  
国宝 源氏物語絵巻  
蓬生・柏木(二)  
11/19(土)~11/27(日)



蓬生



柏木(二)



黒羅背板地葵紋付波文火事羽織 (1/4~1/31)

【特別公開】  
千利休 泪の茶杓  
2/18(土)~2/28(火)



竹茶杓 銘 泪

徳川美術館 本館展示室

4/10(日)~5/22(日)

春季特別展  
広重の旅風景  
雨・雪そして人

風景画の名手歌川広重の代表作である保永堂版「東海道五拾三次之内」全55図に、各種東海道絵や各地の名所絵を加えて紹介します。卓越した脚色の技が活かされた広重の風景画をお楽しみください。



東海道五拾三次之内 箱根 湖水図 個人蔵



東海道五拾三次之内 庄野 白雨 個人蔵

5/28(土)~7/18(月・祝)

特別展  
名刀正宗と相模伝

相模国の刀工・正宗が手がけた刀剣は、室町時代以降の武家社会では、贈答に欠かせない品として高く評価されていました。刀剣の受容の歴史を紐解きながら、尾張徳川家に伝えられた正宗と相模伝の名刀を一堂に展示します。



重文 刀 金象嵌銘 正宗磨上 本阿弥(花押) 名物 池田正宗

7/24(日)~9/11(日)

特別展  
お宝のうら!なか!そこ!

通常の展覧会ではめったに披露する機会がない作品の裏側・内側を紹介するとともに、そこに施された仕掛けと意義を考えます。また展示の裏側として、大名家の道具の収納・保管方法も紹介します。



群鶴図屏風(部分) (伝狩野山楽筆「四季花鳥図屏風」裏面)

9/17(土)~11/6(日)

秋季特別展  
名物-由緒正しき宝物-

茶の湯道具や刀剣などのうち、名の知られた由緒ある優品は「名物」と呼ばれ貴ばれました。尾張徳川家の収蔵品を中心として、名物の展開をたどりながら、名だたる名物の数々をご覧ください。



重文 唐物茶壺 銘 松花 大名物



脇指 銘 吉光 名物 鮫尾藤四郎

2/4(土)~4/2(日)

特別展  
尾張徳川家の雛まつり

尾張徳川家伝来の雛人形・雛道具を中心に、大名家ならではの豪華で気品ある雛の世界を紹介します。



有職雛

蓬左文庫展示室

5/28(土)~7/18(月・祝)

企画展  
大名の冠・婚・葬・祭

誕生や成長、成人、結婚、長寿を祝う行事や葬儀など、大名の人々が人生の節目におこなった冠婚葬祭について、尾張徳川家の伝来品を中心に紹介します。



徳川直七郎(齊温)宮参り行列図(部分)

7/24(日)~9/11(日)

企画展  
祭りの世界-仮装と風流-

祭りは宗教的行事でもあり、人々が心躍らせる娯楽でもありました。江戸時代の祭礼図を中心に、見た目にも美しく楽しい仮装や出し物に着目し、その豊潤な世界を紹介します。



重文 豊国祭礼図屏風(部分) 岩佐又兵衛筆

11/12(土)~12/15(木)

企画展  
鷹狩

飼い馴らした鷹を使って獲物を捕らえる鷹狩は、日本では古代から行われていました。鷹狩道具をはじめ、狩りに関わる人々や場にも焦点を当てつつ、鷹狩の世界を紐解きます。



雪中鷹捉柳鶴図(部分) 狩野養川院惟信筆

1/4(水)~1/29(日)

企画展  
徳川文房博

尾張徳川家に伝来した文房具を一堂に会い、文房(書齋)で用いられた様々な道具と、大名文化における文房具の役割について紹介します。



龍文宿絵輪筆 銘 大明万曆年製 徳川義直(尾張家初代)所用

2/4(土)~4/2(日)

企画展  
読み解き 近世の書状

信長・秀吉・家康をはじめとする近世の人びとの書状を展示し、書状からうかがえるエピソードや書き手の人柄などを紹介します。



徳川家康自筆書状 おかめ・あちや宛

徳川園

4/9(土)~24(日)

春を謳う 徳川園牡丹祭



5/28(土)~6/12(日)

雨を聴く 徳川園の和傘



6/5(日)

徳川園 山車揃え



8/11(木・祝)~15(月)

夜に憩う 徳川園 夕涼み



9/9(金)・10(土)  
月を掬う 徳川園観月会



10/16(日)  
名古屋まつり  
無料開園

11/3(木・祝)  
徳川園開園記念日  
無料開園



11/19(土)~12/4(日)  
錦を纏う 徳川園 紅葉祭

12/13(火)~1/15(日)  
松を寿ぐ 徳川園のお正月



1/2(月・振休)~2/19(日)  
寒を遊ぶ 徳川園の冬牡丹



3/19(日)  
徳川園起源の日  
無料開園

※年間を通して、展覧会・作品・展示期間は諸事情により変更になる場合があります。